

# 令和3年党運動方針

—コロナに打ち克ち希望ある青森へ—  
来る衆議院選挙の圧倒的勝利を目指そう！

## 1 県民の命と健康、暮らしを守りぬく新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染症の陽性者が初めて国内で確認されてから1年4か月余りとなりますが、未だに世界中で猛威を振るっており、わが県でもクラスターが発生するなど収束には至っておらず、予断を許さない状況となっています。

甚大な影響を受けている企業や事業者・県民への相談体制や支援の拡充を図るとともに、適切に対応していくための中長期ビジョンと対策を示していかなくてはなりません。

ワクチン接種が順次始まっていますが、引き続き検疫や医療提供体制の強化など、感染拡大の防止に全力で取り組むとともに、悪化している経済や雇用状況に対して対策の拡充・強化を図ります。

- 希望する誰もが新型コロナウイルスワクチンを効率的かつ安心して接種できるよう、副反応を含めた的確な情報の提供に努めるとともに、相談体制の充実を図ります
- 集団感染（クラスター）を防ぐため、感染防止ガイドラインの周知に努めます
- 迅速な診療・検査体制を確立し、入院病床の確保や検査・医療機器の整備を進めるとともに、コールセンター及び受診・相談センターにおいて、県民からの相談体制の拡充を図ります
- 経営の悪化している医療機関・介護事業所・福祉施設等の経営安定化のための対策に努めます
- 院内感染の防止や遠隔医療の推進を図るため、オンライン診療の導入を促進

します

- 企業活動への影響を抑制するため、雇用調整助成金の支援を継続します
- 中小企業・小規模事業者の資金繰り対策を強化します
- 影響が甚大な宿泊業・飲食業・地域交通・観光業等への支援を実施します
- 地方公共団体との連携強化を図り、財政負担の軽減を図ります
- 消費量が減少している農林水産物について、消費拡大や円滑な流通を図る取り組みを一層強化するとともに、農林水産業者の持続的な経営に向けた支援を強化します
- 生活福祉資金特例貸付の期間延長に努めるとともに、生活困窮者等の住居費、教育費に係る支援を行います
- 新型コロナウイルス治療薬の研究・開発・流通体制の準備に向けて取り組みます

## 2 デジタル社会を実現し経済の成長と雇用の確保する

新型コロナウイルス感染症の影響で、人の移動が制限され物流が滞り経済が円滑に回らない状況となっているなか、デジタル庁を設置しデジタル技術を最大限活用することによりあらゆる分野において生産性向上や働き方改革など、時代に即した取り組みを推進し、再び本県経済が安定して成長を続けられるよう各種施策を強力に展開していきます。

- 企業・行政・個人の間で円滑にデータ流通が可能な環境を整備し、各種行政手続きの円滑化や新たなサービス、技術革新の恩恵が受けられる社会づくりを進めます
- 安全安心な観光の推進や観光需要の維持・拡大を図るとともに、情報発信や周遊観光の推進、モニターツアーの開催など新たな顧客層の獲得を図ります
- 新型コロナウイルス感染症の影響から経済と雇用を守り抜き、終息後には本格的な需要喚起策を行うなど万全の対策を実施します
- Society5.0（超スマート社会）時代に向け、AI、IoT、量子科学、5G等を幅広く活用し、持続可能な地域づくりを推進します
- 地域特性を生かした企業誘致や創業・起業支援を通じ雇用の拡大を図ります
- 中小企業等の新しい事業展開に向けて、新たなサービス展開による販路拡大や新商品の開発等を支援します
- 大都市一極集中へのリスク回避の機運が高まっていることから、オンライン誘致活動やサテライトオフィスの開設促進等、本県の魅力を発信しながら新たな手法による企業誘致活動を展開します
- 個々の事情に応じた多様で柔軟な「働き方改革」を推進し、人手不足の解消や業績の向上といった好循環に繋がります
- 同一賃金同一労働の実現など、非正規雇用の処遇改善を行います
- 非正規労働者や雇用保険を受給できない求職者に対する求職者支援訓練などにより、それぞれの置かれた状況に応じたきめ細やかな就職支援に取り組

みます

- 若者や保護者に本県の魅力を積極的に発信し、高校生等の県内定着を図るとともに、移住やU I Jターンを促進します
- 就職氷河期世代等の就労支援、正規雇用化に令和5年まで集中的に取り組めます
- 女性のための創業支援体制を強化するとともに、女性のための就業支援窓口の環境整備に取り組めます
- パワハラ、セクハラ等を根絶し誰もが働きやすい職場づくりを進めます

### 3 人口減少社会の克服に向け、地方創生の取り組みを進める

少子化・高齢化の進行、大都市への人口偏在は、これからも当面継続していくものと見込まれていますが、地域の元気なくして日本の元気はありません。

本県の特徴を活かした産業を振興し仕事を創るとともに、本県の魅力を全国に発信することにより移住やリモートワーク等を望むあらゆる世代の方々に加え、若者・女性に選ばれる地域にすることで、人口減少に歯止めをかけ、活気あふれる青森県をつくります。

- 市町村と連携してリモートワーク・ワーケーションなどに対応した新たな移住促進モデルを構築します
- 若者・女性や子育て世代に魅力ある環境づくりを進め「住みたい青森」を目指します
- 地域資源を活用した商品開発や付加価値向上を推進するなど、熱意ある新しいチャレンジを支援します
- 中小企業・小規模事業者の生産性向上に向けた取り組みを支援します
- 企業の新分野進出や業務転換への支援をいたします
- 地方交付税や国の地方創生に係る交付金の増額に努め、安定的な財政基盤を確保します
- 医工連携や健康・医療関連サービスの創出を図るほか、買い物支援を始めとした生活関連サービス産業の創出に取り組みます
- 県内企業による新たな海外ビジネスへのチャレンジを支援します
- 地域を支える中小企業・小規模事業者の事業承継を支援します
- 津軽海峡交流圏など広域観光の推進に取り組む他、奥津軽いまべつ駅やむつ湾フェリーを活用した周遊観光の推進に取り組みます
- 滞在型観光コンテンツの創出、企業と連携した宿泊促進、リモート観光等の

推進により、旅行者ニーズの多様化への対応に取り組みます

○青い森鉄道をはじめとする住民の足となる交通機関の経営安定に努めます

○MaaS（複数の交通機関を切れ目なく組み合わせた移動サービス）等を活用した地域の交通ネットワーク構築に取り組みます

#### 4 医療・福祉・社会保障を充実させて安心して暮らせる青森県をつくる

人生100年といわれる時代にあって、誰もが、健康で健やかに暮らしている全世代型社会保障体制の構築が急務です。

また、本県の平均寿命は、男女とも全国最下位であるため、「健康長寿県」を目指し、医療体制の充実や健康づくりに対する県民の意識向上を図るとともに、いつでも質の高い医療や福祉が受けられるようエッセンシャルワーカーの育成と定着に向けた取り組みを強化していきます。

- 医師の地域偏在、診療科偏在に対応した医師確保対策を推進します
- 緊急時の適切な医療体制構築に努めます
- 「青森県がん対策推進条例」に基づき、がんの早期発見・早期治療に向け、がん検診の受診率向上、検診体制の強化に努めます
- 県民の健康意識の醸成や生活習慣の改善に取り組みます
- へき地等におけるICTを活用したオンライン診療の体制整備を進めます
- 現役世代の安心を確保するため「介護離職ゼロ」の社会を目指し、介護従事者のさらなる処遇改善や人材確保に取り組みます
- 女性特有の健康問題に関する相談・啓発体制の構築に努めます
- 医療的ケア児や家族の相談・支援体制を構築し、保育所等での受け入れ体制づくりを進めます
- 認知症の方と家族を支える仕組みづくりに取り組みます
- 障害者の意思疎通手段の利用の促進と「言語としての手話」の認識の普及に取り組みます
- 社会不安に寄り添い、深刻化する社会的な孤独・孤立の問題に取り組み、支援するための整備を促進します

## 5 持続可能な農林水産業の発展と、魅力あふれる農山漁村をつくる

わが県の農業産出額は、16年連続で東北トップを誇り、日本の食を支える食料供給県としての地位を確立しています。

本県の基幹産業である農林水産業を、若者にとって夢のある産業に成長させ次世代に引き継ぐため、安心して質の高い県産品づくりを進めることや、販路拡大のためにECサイトの活用や市場分析を行い、国際状況の変化に合わせた施策を展開していきます。

また、農山漁村における地域経営や観光を活用した地域づくりに努め、魅力あふれる地域づくりを推進して参ります。

- 家族農業経営も含め、中山間地域で頑張る多様な農業者を応援します
- 後継者不足の解消に向け、新規に就農しやすい環境を整備するとともに、法人経営や集落営農など多様な担い手が共存できる体制づくりを進めます
- 先端技術の導入やスマート化・デジタル化を行うことにより、省力化や効率化を図ります
- あおもり米「青天の霹靂」、おうとう「ジュノハート」、「あおもり和牛」等の認知度向上とブランド化に取り組みます
- あおもり米新品種「青系196号」の早期デビューに向けた生産指導体制の整備に取り組みます
- 販売現場の実情に応じた新たなセールス手法の確立と実践に取り組むとともに、「エープレミアム」流通サービスにおいては、新たに個人消費者向けのECサイトを活用して販路拡大に努めます
- 越境EC企業と連携し県産品のPRや市場分析を実施し輸出拡大を図ります
- りんご・ほたてなど農林水産品のさらなる販売拡大に向け、国内外の販売網の拡大や輸出環境の整備に努めます
- TPPや日EU・EPA、日米貿易協定に対し、地域の農林漁業者の不安を払拭し希望を持って経営に取り組んでいけるよう対策を講じるとともに、新

たな市場開拓のチャンスと捉え販路拡大に努めます

- りんご黒星病の早期撲滅に向け、国や県、市町村と連携して対策を講じます
- 畜産・酪農業の経営安定化や衛生管理を強化します
- CSF（豚熱）やASF（アフリカ豚熱）、鳥インフルエンザなど家畜感染症防疫体制のさらなる充実・強化を図ります
- 多様な消費者ニーズに対応した水産物の消費拡大、衛生管理対策、魚食普及への取り組みを強化するとともに、漁業者の経営安定に向けた取り組みを強化します
- 広域化・悪質化している外国漁船違法操業や増加している国内の違法な漁獲に対する取り締まりを強化します
- 森林環境譲与税を活用し、美しい森を守るための取り組みを進めます
- 林業就業者を継続的に育成するための施策を実施します
- 松くい虫・ナラ枯れ被害の拡大防止に向け、万全の対策を講じます

## 6 青森県の未来を担う人づくりを推進する

青森県の未来をつくる人を育てるため、子どもたちに対してきめ細やかな学習と生活指導が重要となっております。少人数学級編成の更なる充実と ICT を活用することにより、効率よく学べる環境をつくり子供たちがふるさとに誇りを持ち、これからの社会に希望を持って挑戦できる環境をつくるため教育の充実に努めます。

- GIGA スクール構想による 1 人 1 台体制の進展に伴い、ICT 教育の充実に取り組みます
- 学びたいという意欲を持つ全ての学生が安心して学べる環境を整備します
- ひとり親家庭など困難な環境にある子供やその家庭の孤立を防ぐため、切れ目のない相談・支援体制を強化します
- すべての子どもが健やかに成長できるように、乳幼児教育の質の向上を図ります
- 子どもの関連政策を一元的に所管する「子ども庁」の創設に取り組みます
- 児童相談所の支援体制を拡充し、警察との連携強化等、「児童虐待」の根絶に向けて総力を挙げます
- 私立学校の経常費補助などを通じ特色ある教育の振興を図ります
- 地域に根差した伝統・文化を尊重し、ふるさとに愛着と誇りを持てる人材の育成に取り組みます
- インターネットを使った犯罪から子供たちを守るための対策に取り組みます
- 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を推進します
- 第 80 回国民スポーツ大会を見据え、若手指導者の育成とジュニア選手の発掘・育成に取り組みます
- 全ての児童生徒が明るく健やかに学校生活を送ることができるよう、学校・保護者・地域が一丸となり「いじめ」・「自殺」の根絶に取り組みます

- 教職員の働き方改革を推進し、教員が子供と向き合う時間を確保します
- 子どもたちの一人一人にきめ細やかな学習指導を行うため、33人以下による少人数学級編成を計画的に小学校全学年で実施します

## 7 地方創生の基盤となる交通ネットワークを整備する

本県は、県土の面積が広大で主要都市間の距離が長いことから、救急搬送や避難といった「命の道」、企業誘致や物流に欠かせない「経済の道」、観光や人口減少克服に欠かせない「地方創生の道」、支え合い共に生きる「地方共生の道」、4つの役割を持つ広域交通ネットワークの整備が必要不可欠です。

本県の活力向上を目指し、道路の他、鉄路、航路、空路の充実とネットワーク化を強力に促進します。

- 北海道新幹線の青函共用走行区間の高速化に努めます
- 青森空港、三沢空港の機能を充実・拡大します
- 青森港、八戸港、むつ小川原港の整備を促進し、津軽港の利用促進に努めます
- 上北自動車道、津軽自動車道、下北半島縦貫道路の早期整備を促進します
- 地理的優位を活かし、北東アジアにおける物流のグローバル拠点化を目指します
- 国道279号の国直轄での整備・管理への取り組みを強化します
- 緊急避難道路となる高瀬川架橋の新設整備を促進します
- 津軽半島内の幹線道路の整備を促進します
- 国道101号の整備を促進します
- 国道104号田子町夏坂～鹿角市大湯間のバイパス整備を促進します
- 八戸・十和田・奥入瀬ライン、国道394号、国道454号、白神ラインの整備を促進します
- 西十和田トンネル（仮称）の整備促進に努めます

## 8 防災・減災対策に取り組み、強い青森県をつくる

東日本大震災から10年が経過しました。その後もわが国では、大規模な地震に加え、激甚な風水害が各地で次々に発生しています。

全国有数の自然豊かな本県にとって、あらゆる自然災害から、県民の命と財産を守り抜くための備えは必要不可欠です。

防災・減災・国土強靱化について集中的かつ継続的に対策を実施し、国民の命を守り、暮らしの安全・安心に取り組んでいきます。

- 自然災害が発生しても機能を発揮できる社会資本整備を進め、情報通信・電力・医療等の生活インフラの整備を促進し、住民の避難対応を強化します
- 災害時に機能不全に陥ることのない強靱な地域づくりを進める観点から、ハード・ソフト面が一体となった「防災公共」の取り組みを推進します
- 台風や豪雨に備え、河川やため池・海岸の整備改修を促進します
- 公共上下水道の老朽化対策や耐震化などライフラインの防災対策を進めます
- 自主防災組織の設立を促進し、活動の活性化を図ります
- 豪雪に対する取り組みを強化します
- 岩木山火山、八甲田山火山、十和田火山の噴火に対する防災対策を促進します
- 日本海溝・千島海沿いの巨大地震モデルを踏まえた防災対策を促進します
- 通学路や歩行者の安全確保対策を強化します
- 原子力災害時における避難道路の整備を促進します

## 9 2050年カーボンニュートラルを目指すとともに

### 安全・安心な「エネルギー先進県」としての取り組みを強化する

本県は、原子燃料サイクル施設をはじめ、国際核融合エネルギー研究センターが立地し、全国第一位の設備容量を誇る風力発電を有するなど、わが国のエネルギー政策に多大な貢献をしていることに加え、豊かで美しい自然環境と持続可能な社会を将来的に引き継ぐことが極めて重要であるため、これらを活用した地域の活性化と産業振興を図る必要があります。

原子力については、安全確保を第一義に、エネルギー需給構造の安定性に寄与する重要なベースロード電源との位置付けのもとに推進します。

原子力発電の再稼働について、原子力規制委員会によって世界最高レベルの新規制基準に適合すると認められた場合には、その判断を尊重し、原子力施設の再稼働を進めます。その際、国や事業者に対して施設の安全確保対策の徹底を求めるとともに、防災対策を強化します。

- 経済再生に不可欠な安定的かつ低コストのエネルギー需給構造を実現するため、省エネを推進し、再生可能エネルギーの導入を促進します
- ITER計画と並行して取り組まれる「幅広いアプローチ」のプロジェクトを推進します
- 2050年までに、温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにするカーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現に取り組みます
- エネルギー関連産業への県内事業者の参入を促進します
- 量子科学センターを活用した人材育成や研究開発活動を展開し、新たな産業の創出・雇用拡大に取り組みます

## 総選挙必勝へ向けた党活動

本年は衆議院総選挙が行われます。

選挙に勝利するためには、候補者はもとより、党本部・県連・支部、党员・党友が日常の活動を深化させ、有権者の期待に応えていく必要があります。

新型コロナウイルスのため、主な活動ができなかった今年の党活動を踏まえ、本年は創意工夫により党活動の抜本的な見直しを行うことで、国民・県民の皆様との接点を深め、総選挙の勝利に繋げていきます。

また、来年には参議院議員通常選挙が控えていることから、早期に候補者を選定し、強固な現職候補の地盤を揺るがすため、一步一步着実な歩みを進めるべく活動を展開していきます。

### (1) 党組織を強化し、一丸となって戦い抜く

わが党は、地域に根差した「組織力」を強化することで、県民の皆様の声を聞き、ともに成長を続けてきた国民政党であると自負しています。

引き続き、国会議員を先頭に、県議会議員、関係市町村長、市町村議会議員、支部党员・党友連携のもと、組織拡大に全力で取り組み、目標である1万2,000人の党员獲得を目指します。

青年局は、改革の荒波に飛び込む先駆者としての自覚を持ち、地域の課題解決のために積極果敢に行動していくとともに、青年団体との連携強化、党デジタル化の推進等に取り組みます。

女性局は、児童虐待防止の啓発活動「ハッピーオレンジ運動」をはじめとし

た研修・広報活動・対話集会など、女性ならではの視点に立った政策活動に取り組めます。

約8年ぶりに開催した地方政治学校事業「AOMORI 政治塾」第二期目が好評を博したことから、コロナの状況を見極めつつ、有意な人材の発掘と党员全体の資質向上に向け、第三期目の開催を目指します。また、議員、党员を対象とする各種研修活動、友好団体との意見交換等を実施し、相互理解と信頼関係の構築を目指してまいります。

## （2）選挙の勝利に向けた広報活動を強力に展開

様々な情報が氾濫する現代社会において、わが党が掲げる重要政策に対し、国民・県民の皆様へ支持をいただくためには、分かりやすく、共感できる情報の伝達が不可欠です。

新型コロナウイルスに対する国及びわが党の対策を、各種広報物で効果的に周知し、県民の皆様へ安心と希望を届けるための広報活動を展開します。

コロナ禍における新たな選挙運動や党活動の在り方を模索する上で、ネットメディアは特に必要なツールであり、わが党の政策や活動に関する理解を深めてもらうため、SNS等を通じ、分かりやすく簡潔な情報発信に努めます。

また、機関誌「自由民主」、女性誌「りぶる」は、党政策や候補者の主張などを正確に伝えることができる重要な媒体であると位置づけ、引き続き購読者の拡大に努めてまいります。

## 青森県自由民主会館の改修について

一般財団法人青森県自由民主会館は、建築から約50年が経過しており、補修すべき箇所が年々増す傾向にあるなど老朽化が進んでおり、施設の大規模な改修をしなければ会館を維持できない状態になってきております。

役員会では、令和元年10月、会館の改修・建て替え等について検討するため、改修検討小委員会を設置、予算や居住権等の問題を整理し、今後の会館のあり方について多角的な議論を進めてきたところです。

議論を重ね、その結果、小委員会は、数年後を目途に現在の会館立地場所に建て替える方法が最善であるとの結論に至りました。

今後、工程の作成や建設費用の積み立て等について、具体的な準備に入りますが、まずは党員の皆様にご報告申し上げ、改修の計画にご理解を頂き、更にご協力を賜りますようお願い申し上げます。